

取扱説明書

アクトモア ジョイ AR

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項
や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がありましたら、当社までお問い合わせください。

1 ご使用上の注意

危険

【死亡または重傷を招くもの】

- 座面に腰を掛けるときや、歩行車から手を離すときは、必ず左右両方の駐車ブレーキを掛けてください。ブレーキが掛かっていないと動き出して、衝突や転倒の危険があります。
また、腰を掛ける場合は、平坦な場所で後ろ向きに座ってください。
- エスカレーター・動く歩道・階段などでは使用しないでください。
段差のあるところでの使用は十分注意してください。転倒のおそれがあり危険です。
- 溝や踏切の線路での落輪、キャスターの挟み込みには十分注意してください。

警告

【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。
取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。
- 本製品の耐荷重（P8「11仕様」参照）を守ってください。
- 人を乗せたまま走行しないでください。
本製品は車いす・乳母車・ベビーカーではありません。
転倒のおそれや、足をひきずるなどしてケガをするおそれがあり危険です。
- 凹凸や傾斜のある路面、すべりやすい場所で使用するときは十分注意してください。
また、急勾配の坂道では使用しないでください。
- 座面の上で立ち上がらないでください。
- 走行時のブレーキ操作は、必ず両手で左右同時にブレーキレバーを握ってください。
片方のブレーキレバーだけを握ったり、片方の握りが弱い場合、
左右のバランスが崩れ不安定となり転倒のおそれがあります。
- 急ブレーキをかけないでください。
バランスが崩れて転倒するおそれがあります。
- 走行時は必ずグリップ（押し手）を握って走行してください。
グリップ以外の部分（背もたれベルトなど）を持って走行すると、転倒するおそれがあります。
- 本製品を体の後ろに置いて使用しないでください。

⚠ 注 意

【軽傷または中程度の傷害を招く可能性があるもの】

- 分解や改造をしないでください。
強度や耐久性が低下し、転倒のおそれがあります。
- 火気に近づけないでください。
熱くなった金属部でやけどをするおそれがあります。
- 袖口やすその広い服装などで本製品を利用される場合は、ご注意ください。
衣服がキャスターに巻き込まれるおそれがあります。
- 杖立てに杖を装着したり外したりするときは、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
- 本製品の開閉操作を行う際には、幼児を近づけないでください。
- 車体を閉じるときや調整を行うときは、可動部に手を挟まないように注意してください。
- 風雨の強いとき、また傘を持ちながらの片手でのご使用はおやめください。
- バッグ以外の所に荷物を載せたり、つるしたりしないでください。
- バッグへの積載量 (P8「11 仕様」参照) を守ってください。

2 製品の特長

- おしゃれなデザインと実用性を兼ね備えた歩行車です。
- 段差に強い大きめの9.8インチキャスターを採用。
足元のティッピングレバーを踏むことで
段差も軽く乗り越えられます。
- 休憩時の腰掛けとして使える座面付きです。
- キャスターとフレームに反射シールがついています。



3 各部の名称



折りたたみ時



[アクトモア ジョイAR ハイ]

4 適合調整

グリップ(押し手)の高さ調整のしかた

- ① 左右のグリップの下にあるノブネジをゆるめます。
- ② グリップを上下し、高さを調整してください。
(ロー：76～87cm 5段階調節／ハイ：80.5～102.5cm 9段階調節)
- ③ 高さが決まったらノブネジを回してしっかりと締めてください。

△注意

- 高さ調整を行った際は、左右が同じ高さであることを確認してください。
- グリップを確実に固定してください。
ご使用中にグリップがぐらつき、転倒するおそれがあります。
- グリップ高は目盛りの範囲内でご使用ください。

ポイント

まっすぐ立って腕を下げたときの手首の位置、あるいは大転子のあたりを、グリップの高さの基準にします。実際に歩行車を動かしてみて高さを決めるとよいでしょう。



ブレーキ調整のしかた

- ① ナットをゆるめます。
後輪カスター上部にあるネジを、時計回りに回すとブレーキが強く利き、反時計回りに回すとゆるみます。
- ② ブレーキを調整した後は、ネジの下のナットを締めて、ゆるみがないようにしてください。

△注意

ブレーキ調整部は左右2ヶ所あります。
左右のブレーキが同じように利くように調整してください。
左右のブレーキの利き方が違うとバランスを崩すおそれがあります。



5 ご使用前の準備と点検

ご使用前に以下の点を確認してください

- ① ブレーキの確認
 - ブレーキレバーを握り、ブレーキが利くこと。
 - ブレーキの利き具合が悪いときは、後輪カスター上部にあるブレーキ調整ネジを回して調整してください。それでも直らないときには、当社までご連絡ください。
 - 駐車ブレーキがカスターを固定すること。
ブレーキ調整ネジを締めても利きが悪いときは、当社までご連絡ください。
- ② カスターの確認
 - カスターがゆるんでいないこと。

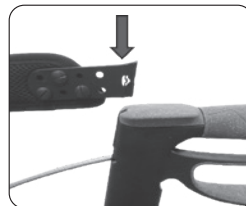
6 組み立てかた

背ベルトの取り付けかた

- ① 背ベルトの一方の端を、グリップ（押し手）前方にあるスライドの溝へ上から差し込みます。
- ② 反対側も同様に差し込みます。

△ 注意

背ベルトは正しい向きで設置してください。



背ベルトの向き

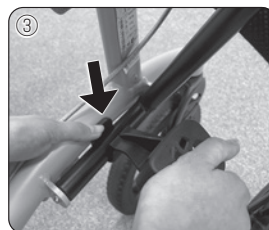
杖立て（杖ホルダー・杖先受け部）の左右位置の取り替えかた

標準仕様の杖立ては、本体フレームの左側に装着されています。
右側に取り付ける方法について、以下の手順を参考にしてください。

「杖先受け部」の取り外し・取り付け

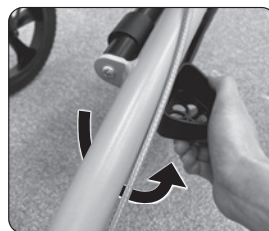
【取り外しかた】

- ① 本体フレームに取り付けられている「杖先受け部」のビスをゆるめ、外します。
- ② 「杖先受け部」を内側に回転させます。
- ③ 黒いパイプから「杖先受け部」を外します。
※本体フレームと黒いパイプの間から見える「杖先受け部」の先端に上から力をかけると、外しやすくなります



【取り付けかた】

- ① 反対側のフレーム内側にある黒いパイプに「杖先受け部」を取り付けます。
※黒いパイプの横から差し込むと、取り付けがしやすくなります
- ② 「杖先受け部」を内側に回転させ、本体フレームと黒いパイプのすき間に「杖先受け部」の先端が収まるようにします。
- ③ 「カチッ」と音がするまでしっかり差し込み、「杖先受け部」を外側へ回転させます。
- ④ 本体フレームの前後位置を調整し、ビスを戻して固定します。



「杖ホルダー」の取り外し・取り付け方法

【取り外しかた】

杖ホルダーのビスをゆるめて取り外します。

【取り付けかた】

反対側の支柱に杖ホルダーを取り付け、ビスを戻して固定します。
※杖の長さに合わせて高さを決めてください



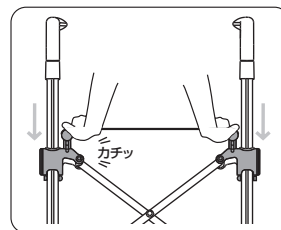
7 ご使用方法

開きかた

- ① 折りたたみを留めているフックを外します。
- ② グリップ (押し手) を両手で持ち、外側に開き、座面を「カチッ」と音がするまで押し下げます。

△ 注意

- 開いた後、座面が固定されゆるみがないことを確認してください。
- パイプの間に手や指を挟まないように注意してください。



折りたたみかた

- ① 駐車ブレーキを掛けます。(P5 駐車時のブレーキの掛けかた参照)
- ② 座面の中央にある折りたたみストラップを引き上げ、ロックを解除し折りたたみます。
- ③ フックで折りたたみを固定します。
持ち上げる際は、バッグを固定しているパイプを握ってください。

△ 注意

背ベルトを持って本体を持ち上げないでください。

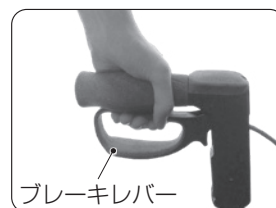


走行時のブレーキの掛けかた

- 自転車のブレーキを使う要領で、グリップ (押し手) とブレーキレバーを同時に握ると、ブレーキが掛かります。
- ブレーキレバーから手を離すとブレーキは解除されます。

△ 警告

ブレーキを掛けるときは、両手で左右同時にゆっくりとレバーを握ってください。



駐車時のブレーキの掛けかた

- 左右のブレーキレバーを「カチッ」と音がするまで下に押し下げます。
- 解除するには、ブレーキレバーを押し上げます。
または、グリップ (押し手) とブレーキレバーを同時に握りしめても解除できます。

△ 危険

座面に腰掛けるときには、必ず駐車ブレーキを掛けてください。



段差の乗り越えかた

後輪キャストの内側にあるティッピングレバーを踏み、前輪キャストを上げます。テコの原理で前輪キャストが容易に上がるので、段差の乗り越えに便利です。

⚠ 危険

- ティッピングレバーを勢いよく踏まないでください。
手前に倒れるおそれがあります。
- バッグに荷物を入れた状態で段差を乗り越える際は十分気をつけてください。
バランスを崩すおそれがあります。
- 必ずグリップ(押し手)を両手でしっかり握り操作してください。



歩きかた

グリップ(押し手)を体に近づけて歩いてください。

⚠ 注意

歩行車から体が離れた状態で使用しないでください。
不安定な姿勢となり転倒するおそれがあります。



杖立ての使いかた

杖を歩行車の杖立てに取り付ける際は、以下の手順で行なってください。

- ① 杖の杖先を、「杖先受け部」に入れます。
- ② 「杖ホルダー」の固定部を外側に開き、杖を入れます。
- ③ 固定部を閉じて、杖が固定されていることを確認します。
杖を外す際は、固定部を解除し、杖を取り外してください。

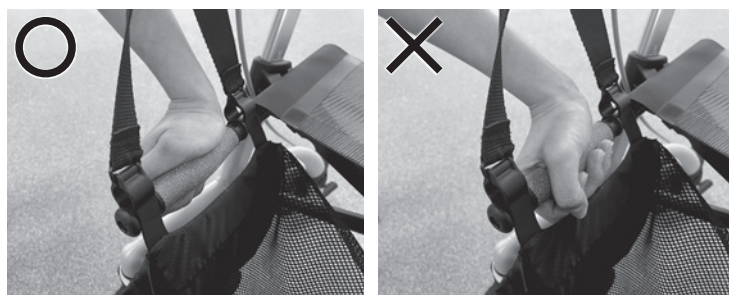


バッグの取り外しかた

- ① 本体が開いた状態で、左右の駐車ブレーキを掛けます。
- ② パイプを支えながら、バッグの取っ手を上方へ持ち上げます。
固定しているフックが外れ、バッグを取り外すことができます。
※取り外しにくい場合は、パイプに固定しているフック(2ヶ所)を直接外してください。
- ③ 反対側も同様に取り外します。

⚠ 注意

- 取り外す際に、パイプを支えている手や指が、バッグの縁に当たらないよう注意してください。
- バッグを取り付ける際は、手や指を挟まないように注意してください。
手や指が挟まり、ケガをするおそれがあります。



8 お手入れの方法

- ご使用前には必ず「P3 5 ご使用前の準備と点検」を確認し、常に安全な状態でお使いください。
- 汚れた場合は、中性洗剤または水を含ませた布でふき、汚れを取り除いてください。

9 保管場所

- 次のような場所では、保管しないでください。故障の原因となります。
 - ・ 雨が当たる場所 ・ 湿気の多い場所 ・ 炎天下、直射日光が当たる場所 ・ 高温になる場所
- 床の素材により、タイヤ痕や油シミのような汚れが床に付着する場合がありますため、十分にご注意ください。
床面の上に汚れても良いカーペットなどを敷いて保管することをおすすめします。

10 故障かな？と思ったら

故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目をチェックしてください。

症 状	考えられる原因	処 置
グリップ(押し手)がグラグラと動く	グリップの高さ調整のノブネジが確実に固定されていない。	ノブネジが、確実にはまっているか確認してください。
手元ブレーキが利かない	キャストの磨耗。	キャストの交換が必要です。当社までご連絡ください。
	ブレーキワイヤーの破損。	当社までご連絡ください。
駐車ブレーキが利かない	キャストとブレーキパッドの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
	ブレーキの破損。	ブレーキの交換が必要です。当社までご連絡ください。
	キャストの破損。	キャストの交換が必要です。当社までご連絡ください。
キャストが重い	キャストに髪の毛、ビニールなどが巻きついている。	キャストを手で回転させて、巻きついているものを取り除いてください。
	(駐車)ブレーキがかかっている。	(駐車)ブレーキを解除してください。

※チェックをしても正常に使用できない場合、車体の破損や異常を発見した場合はすぐに使用を中止して、当社までご連絡ください

11 仕様

製品名	アクトモア ジョイAR	
	ロー	ハイ
適応身長めやす	145～170cm	155～200cm
本体外形寸法(全幅×奥行)	62×69cm	
座面寸法(幅×奥行)	48×18.5cm	46×18.5cm
座面高	54cm	62cm
グリップ(押し手)高	76～87cm(5段階調節)	80.5～102.5cm(9段階調節)
グリップ(押し手)間距離	41cm	
折りたたみ幅	22cm	
キャスター径	前輪：9.8インチ(自在) 後輪：7.8インチ(固定)	
重 量	約6.8kg	約7kg
使用者最大体重(積載物含む)	150kg	
バッグ積載量	約5kg	
材 質	フレーム：アルミニウム グリップ：TPE	

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア

千葉本社 福祉本部 〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港 42-4
TEL.043-301-8338



●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店